

■特集

インストラクショナルデザインを活かす(1号)

インストラクショナルデザインを概観する：合田美子，1，6
 [コラム]インストラクショナルデザインの学び方：鈴木 克明，1，12
 「美しい」授業設計をめざして——インストラクショナルデザインでできる合理的な改善：平岡齊士，1，14
 ARCS モデルを使って「その気」にさせ、行動を引き起こし、継続を促す：都竹茂樹，1，20
 インストラクショナルデザインを看護教育に取り入れることで得られたこと：豊場沢子／都竹茂樹，1，27
 専任教員の継続教育としての研修会——インストラクショナルデザインを用いた魅力ある授業づくり：福岡公香／高口みさき／田口恵美子，1，32

VR で未来を変える(2号)

教育における VR の活用を展望する：廣瀬通孝，2，86
 VR × 看護教育——患者の立場に立てる教育方法をめざして：山川みやえ／古谷和紀／内藤知佐子，2，92
 VR 体験とこれからのケアをつなぐ学習プログラム——ループリック評価，教員の活用方法とともに：内藤知佐子／山川みやえ，2，100
 【座談会】VR の可能性に託した，看護教育への信頼と展望：下河原忠道／内藤知佐子／古谷和紀／堀田聡子／山川みやえ，2，109

私たちのストレスケア(3号)

職業的アイデンティティと職業性ストレス——看護教員のメンタルヘルス対策に向けて：福永ひとみ，3，170
 「ストレス自慢を」をやめて「ストレスフリーの場」をつくりませんか——教育職場のストレス構造とその軽減方法に関する考察：筒井美紀，3，176
 さまざまな形での教員へのメンタルサポート：椋田容世，3，182
 ストレスはつきもの——自らの限界を知り，載せ過ぎた「荷物」をおろそう：宮子あずさ，3，188
 研究教育機関におけるアカデミック・ハラスメントを考える——学びやすく，働きやすい教育現場をつくるために：湯川やよい，3，193

問題解決志向に疲れたら……(4号)

弱い教員からのもの語り
 学生と同じく，弱さを抱えた私：清水隆裕，4，258
 看護教員のあり方への危惧：入江 拓，4，263
 【インタビュー】答えの出ない事態に耐える力：ネガティブ・ケイパビリティが支えるもの——帯木蓬生先生に聞く：4，268
 【インタビュー】教育のパターンリズムへの問い——当事者研究から——向谷地生良先生に聞く：4，274
 当事者に聞く姿勢を伝える——ストレングス・マッピングシートを活用した演習：萱間真美，4，280
 【対談】「弱さ」の教育学のために——現象学がみつめること：守屋 淳／西村ユミ，4，286

授業にゲームを(5号)

教員よ，ゲーム・デザイナーたれ！——看護教育におけるゲーミフィケーション導入のすすめ：藤川大祐，5，340
 シミュレーションをゲームとして考える——子育てバーチャル体験教育システムを例として：太田浩子，5，346
 HUG で考える災害現場での医療者としての対応：牧野典子，5，352
 認知症予防ゲームづくりで学生が得られること：庄藤智恵美，5，358
 iPEG とビブリオバトルを用いた多職種連携のための初年次教育：廣瀬清英，5，366
 教育に役立つ「シリアス」なゲームとは何か？：福山佑樹，5，372

身体拘束から考える 基礎教育と臨床の関係(6号)

【インタビュー】拘束という慣習を乗り越えるために——酒井郁子先生に聞く：6，434
 看護師の変遷する拘束像——学生から新人看護師，指導的立場へ——中野真理子，6，442
 【座談会】看護学生にとっての身体拘束——現実，葛藤，希望：石島健資／沖 夏穂／鈴木千晴／猪熊七海／勝間田麻夏／松本ちなみ／芦田 薫／中野真理子，6，448
 身体拘束減少につながる精神看護学の教育とは——都立松沢病院での実習をとおして：廣川聖子，6，456
 学生・教員・病院看護部の協働による Hospital Elder Life Program in St. Luke's (HELP in SL) の取り組み——「人が足りないから拘束する」への問いかけ：亀井智子，6，463
 [コラム]学生ボランティアから見た本場の HELP：柏木 早穂，6，470
 [コラム]HELP in SL の体験：志賀悠，6，471

主体性を育む「問いづくり」(7号)

主体的に学ぶ力を養う「問いづくり」—— QFT (Question Formulation Technique) の活用：佐藤広子，7，526
 【座談会】主体的な学生を育てる試みを—— QFT を体験して学んだこと：佐藤広子／萬田律子／山田かおる／加藤久美子／佐々木津矢，7，534
 学習者の「知りたい」を引き出す——『問いをつくるスパイラル』から始めるアクティブラーニング：天野由貴，7，542
 QFT を知る，学ぶ，使う 「ハテナソン・ワークショップ」から学んだこと：江川美由紀／岩井由美子，7，550

実習指導 虎の巻(8号)

【第1部】実習指導で大切なこと

【座談会】実習指導の魅力と課題を共有し，「これから」を考える：池西静江／水方智子／任 和子／岡山寧子，8，626
 実習指導はおもしろい！——現場のピンチをチャンスに変えていこう：大池美也子，8，636
 1人ひとりの学生と向き合うために——指導案と指導記録作成のススメ：山口みのり，8，642

【第2部】ここが知りたい実習指導

教員の「看護師としての役割」と「教える役割」で迷ったら：奥 裕美, 8, 648
 看護過程と実践がズレていると感じたらどうすればいいか：秋元恵子, 8, 652
 マニュアルどおりにしか動けない学生。どうすれば実習を学びにつなげられる？：高橋聖子, 8, 655
 教えたはずのことを学生が「習っていない」といったら：野村明美, 8, 658
 実習のグループ運営がうまくいかない！どうする？：保田江美, 8, 660
 実習の準備は何をすればいい？：森三希子, 8, 664
 学生のアセスメントが形式的になってしまう：樋口明里, 8, 667
 学生の主体性を引き出すには：山口幸恵, 8, 669
 経験のない領域・病棟の実習指導を任されたらどうすればいいか：松本有加, 8, 673
【第3部】実習施設との協働に向けて
 臨床の方は忙しいので声がかけにくい……：正藤倫音, 8, 676
 教員も慣れない実習先で、技術教育が充分にできない：岩崎詩子, 8, 678
 学習計画が実習施設と共有できない：中村加奈子／島田伊津子, 8, 680
 カンファレンスが一方的な報告にならないためには：金子あや／池田葉子, 8, 683
【第4部】実習指導の理解をさらに深める
 「経験型実習教育」のススメ：安酸史子, 8, 686
 『看護教育のためのパフォーマンス評価 ルーブリック作成からカリキュラム設計へ』に込めた実習指導の極意：糸賀暢子, 8, 694
 現場での体験こそ最高の教材『実習指導を通して伝える看護 看護師を育てるひとたちへ』で伝えたいこと：吉田みつ子, 8, 702

統合実習は“統合”されているか？(9号)

「統合実習」の内容と発展を振り返る：大島弓子, 9, 774
 統合実習で何を“統合”するか——探究をとおして学生が学びを統合するということ：水戸優子, 9, 780
 学生チームによる看護実践が導く統合：宮芝智子, 9, 788
 継続する看護をリアルに学ぶ「夜間実習」で実習を統合する：平塚厚子, 9, 794
 専門学校で行う、臨床現場でチームとして学ぶ統合実習：渥美美保, 9, 802

発達障害の特性がみられる学生への理解と支援(10号)

【インタビュー】支援の誤解とポイント——発達障害支援の第一人者 高橋知音先生に聞く, 10, 858
 「対応が難しい学習者」は、誰が、何に、困っているのか：川上ちひろ, 10, 866
 当事者からの言葉
 ADHD, ASD の診断を受けた看護学生の悩み：透子, 10, 874
 「特性」をもつ看護師として学び、働き、みえてきたこと：中島裕子, 10, 887

まとめサイト管理人が語るライフハックと支援：凹凸ちゃんねる管理人, 10, 881
 看護教員が発達障害について学ぶ意義——書籍『大人の発達障害ってそういうことだったのか』から得られる知見：西田千夏, 10, 886
 本人自身が困り事を発信できる支援に向けて——当事者を家族にもつ看護教員の視点：中尾幹子, 10, 890
【座談会】就職後も見すえた、発達障害の学生のキャリア支援とは：川上ちひろ／相馬良子(仮名)／松野友美／堀田 亮, 10, 896

「母性」「小児」「老年」の概念を変える 家族のダイバーシティ(11号)

「家族のダイバーシティ」を3方向から探る——教員がどう認識し、教授していくか：吉沢豊子, 11, 948
 さまざまな「親」が育児をする時代——“母性”看護の視点を見直す：跡上富美, 11, 956
 育成期家族の多様性と“拡大する”小児看護——多様化すること、変わらないこと：佐藤奈保, 11, 962
 「老人」の急増と老年看護の変化——高齢者のとらえ方の多様性：目麻里子／山本則子, 11, 970
 「家族って何？」から見直そう——“わからない”という前提での教育を：沼崎一郎, 11, 976

看護教育をとらえる新たな発想——コンセプト・ベースド・カリキュラム(12号)

米国看護教育の改革：コンセプト・ベースド・カリキュラム：岩間恵子, 12, 1024
 概念基盤型学習のアプローチ：根幹は“Less is more!”にあり—— Giddens 教授との対話から：津波古澄子／Jean Giddens／宮武綾音, 12, 1032
【コラム】The Conceptual Approach: A Primer for Japanese Nurse Educators：Jean Giddens／津波古澄子訳, 12, 1038
 看護基礎教育における概念基盤型学習の活用——知識・スキル・理解(概念)の3側面学習支援に向けた文献レビュー：津波古澄子, 12, 1040
 コンセプトにもとづいた学習で「看護師のように考える」を支援する①——臨床のリアルを追求した紙上事例の取り組み：奥 裕美, 12, 1048
 コンセプトにもとづいた学習で「看護師のように考える」を支援する②——看護ゼミ「臨床判断」の取り組み：三浦友理子／山本佳崇／森田敦子／大森智美, 12, 1054

■焦点

学習指導要領改訂と大学入試改革の影響——前編 学習指導要領改訂による、入学生の質の変化の可能性：濱名篤, 4, 296
 学習指導要領改訂と大学入試改革の影響——後編 大学入試改革の行方と求められる教員の対応：濱名 篤, 5, 380
 第107回 看護師国家試験を振り返って
 新出題基準での追加問題にはとまどっても、おおむね受験生は対応：柳めぐみ, 7, 558
 看護教育にこそ有効なブレFD
 2030年を見すえた大学教員養成：ブレFDの可能性：

佐藤浩章, 11, 984

看護教育にこそ有効なブレ FD

【対談】看護の大学院生時代から教育を学ぶことの意義——ブレ FD で鍛えられるさまざまな「力」：奥山葉子／大串晃弘, 12, 1064

■ 特別記事

臨床判断を拓く評価に向けて——ラサター臨床判断ルーブリック日本語版の作成：細田泰子／根岸まゆみ／キャシー・ラサター, 1, 40

【コラム】日本の読者へのメッセージ：キャシー・ラサター, 1, 46

【インタビュー】「ディープ・アクティブラーニング」という示唆——松下佳代先生に聞く：佐々木杏子, 2, 120

ストレスケアのための臨床瞑想法——マインドフルネスとの比較から：大下大圓, 3, 200

【鼎談】自治体の看護学校協議会の活動活発化に向けて：鳥井元純子／山田かおる／柳めぐみ, 3, 208

准看護師養成所における教育の現状——教務主任アンケート調査結果から：伊東美奈子／井部俊子, 5, 388

看護師学校養成所 2 年課程（通信制）における臨地実習のあり方に関する調査報告——「見学実習」に焦点をあてて：奥 裕美／井部俊子, 6, 474

【座談会】看護の「教育」をより充実させるために：近藤麻里／阿形奈津子／中井俊樹, 8, 710

わが国初の看護学速習プログラム（学士 3 年次編入）の報告：齋藤あや／下田佳奈／川端 愛／堀内成子, 10, 906

【コラム】転職や出産を経て、もっとも充実した日々：審良綾子, 10, 910

【コラム】地域経済学での学びから、地元の医療に貢献する道へ：田中知冬, 10, 910

自らのキャリアをふまえた臨床看護師の大学院進学の意味——秋山智弥先生に聞く：廣瀬直紀, 11, 990

■ 特別寄稿

概説：看護学教育モデル・コア・カリキュラムのねらいと活用：斉藤しのぶ／田村洋貴／首藤彩香／伊達沙織, 3, 214

■ 実践報告

聖路加国際大学看護学部における LA (Learning Assistant) システムの創設：池口佳子／五十嵐ゆかり／三浦友理子／宇都宮明美／奥 裕美／高田幸江／高橋奈津子／松本文奈／林 直子／藤田俊介／吉田千文, 4, 302

【コラム】LA は近未来の教師の姿：三浦真琴, 4, 306

充実した在宅看護学実習の実現をめざして（前編）——在宅看護学実習に対する教員の「戸惑い」教育コラボレーションの可能性を考えるワークショップから：日本在宅看護教育研究会, 7, 564

充実した在宅看護学実習の実現をめざして（中編）——受け入れ側の訪問看護ステーションと大学の連携からの示唆：日本在宅看護教育研究会, 8, 718

充実した在宅看護学実習の実現をめざして（後編）——管理者がとらえた、在宅看護学実習の受け入れによる訪問看

護師への教育的効果：日本在宅看護教育研究会, 9, 810
基礎看護技術教育の課題克服に向けて（前編）——ヘビーローテーション再生動画教材の作成と活用：中原るり子／中村昌子／山住康恵／櫻井美奈, 9, 816

基礎看護技術教育の課題克服に向けて（後編）——ヘビーローテーション再生動画をういた授業展開：中原るり子／中村昌子／山住康恵／櫻井美奈, 10, 912

■ Scramble Zone

教育・学修支援専門職養成プログラムの公開講座「学生の抱える困難の理解と支援」に参加して考えたこと：飯岡由紀子, 1, 48

『看護覚え書』に学ぶ生活科学——“夢の実現”を支える“健康な生活”をすべての人びとに：小河一敏, 2, 128

アクティブ・ラーニングの“深さ”は「愛の深さ」——日本アクティブ・ラーニング学会 チャレンジ教育部会第 2 回研究会に参加して：小倉久美子, 4, 308

看護基礎教育における初年次教育としての協同学習の導入——前編 なぜ導入したのか、その理論的背景：鯨島輝美, 6, 482

大学教員として注目すべき IR (Institutional Research) の働きと機能——「内部質保証に資する IR の機能・動向・実践事例」セミナーに参加して：眞鍋知子, 6, 488

看護基礎教育における初年次教育としての協同学習の導入——後編 LTD 基盤型授業「基礎ゼミ」の授業展開：須藤 文, 7, 570

授業と授業外学習支援でアクティブラーナーを育てる——本学の 4 年間の AP 事業から：酒井浩二／徳永基与子／藤田大雪／阿部一晴, 7, 576

「学生 & 教員トークセッション」第 1 回——大学に行けば教養は身につくのか？：堀田佐知子／山根実佳／若村智子／岡本恭介／高塚由香里, 7, 582

学生の学びを促進するシラバス作成のために「インタラクティブ・ティーチングフォーラム」第 1 回 あらためてシラバスに参加して：高橋奈津子, 8, 724

看護経済・政策研究学会「病や障害とともに生きる看護職の活用——ケアギバーとしての役割と共生社会への道」開催報告：栗原房江, 8, 730

講義形式の授業をやめてみよう——日本教育工学会 大学教員のための FD 研修会に参加して：太田浩子, 8, 734

「学生 & 教員トークセッション」第 2 回 アクティブ・ラーニング 好き？嫌い？：岡本恭介／山根実佳／堀田佐知子／高塚由香里／若村智子, 8, 740

「学生 & 教員トークセッション」第 3 回 学生は研究をしないといけないのか？：山根実佳／若村智子／高塚由香里／岡本恭介／堀田佐知子, 9, 824

大学教育、大学入試選抜の改革に対応していくための課題——九州大学のセミナーに参加して：宗正みゆき／宮林郁子, 12, 1070

■ つくって発見！ 美術解剖学の魅力：阿久津裕彦

1. 脊柱——びんと背筋は伸びません：1, 1
2. 頭部——頭は考えるアゴである：2, 81
3. 斜角筋隙——三角形のトンネル：3, 165

4. 腋窩隙——腋に走る縦のトンネル：4, 253
5. 聴診三角と腰三角——背中にある4つのポイント：5, 335
6. 皮静脈——でたらめなように決まった流れ：6, 429
7. 腸腰筋——腹の中の力持ち：7, 521
8. 中殿筋——お尻は後ろだけじゃない：8, 621
9. 大腿三角——さらけ出した急所：9, 769
10. 大腿四頭筋——ほんととは背中側の筋：10, 853
11. 手根管——まるで石造りのトンネル：11, 943
12. 外果と内果——腱を引っかけるでっぱり：12, 1019

■ NとEとLGBTQ

1. まずは言葉の理解から：藤井ひろみ, 4, 307
2. 性同一性の“障害”？：浅沼智也, 5, 419
3. 「健康なLGBTQ」が抱える健康課題：藤井ひろみ, 6, 511
4. 「T」の人たちの医療機関における困りごと：浅沼智也, 7, 609
5. 同性愛指向や性別違和をもつ看護学生への対応：藤井ひろみ, 8, 729
6. 医療従事者がLGBTQ理解を深めるための研修を：浅沼智也, 9, 851
7. 「LGBTの問題に対する看護の沈黙」を破るために：藤井ひろみ, 10, 941
8. トランスジェンダーの健康リスク：浅沼智也, 11, 1017
9. LGBTQを支える大学の取り組み？何から始める？：藤井ひろみ, 12, 1093

■ 看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる！ 腑に落ちる！：榊原哲也

1. 哲学者とベナーを読む：5, 398
2. 現象学的人間観(1)——身体化した知性：6, 494
3. 現象学的人間観(1)——身体化した知性(つづき)：7, 588
4. 現象学的人間観(2)——背景の意味：8, 746
5. 現象学的人間観(3)——気づかい／関心：9, 830
6. 現象学的人間観(3)——気づかい／関心(つづき)：10, 920
7. 現象学的人間観(4)——状況：11, 1000
8. 現象学的人間観(5)——時間性：12, 1076

■ ティーチング・ポートフォリオ作成講座：栗田佳代子／吉田 暁

1. 本講座の概要とティーチング・ポートフォリオについて：4, 314
2. ティーチング・ポートフォリオ・チャートの作成：5, 404
3. ティーチング・ポートフォリオ・チャートを見直す：6, 500
4. ティーチング・ポートフォリオ・チャート作成の感想——森真喜子さん(国立看護大学校)との座談会 前編：7, 594
5. ティーチング・ポートフォリオ・チャート作成の感想——森真喜子さん(国立看護大学校)との座談会 後

編：8, 752

6. ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ：9, 836
7. スタートアップシートの作成：10, 926
8. ティーチング・ポートフォリオの初稿の作成——小林由実さん(神奈川県立保健福祉大学)の第1回メンタリング事例とともに 前編：11, 1008
9. ティーチング・ポートフォリオの初稿の作成——小林由実さん(神奈川県立保健福祉大学)の第1回メンタリング事例とともに 後編：12, 1084

■ キネステティック・クラシック・ネオ 動きの言語化のツールが可能にすること：中本里美

1. キネステティックの「原点」——安全安楽と自立促進を提供できるツール：1, 54
[コラム]安楽について、動きの観察から再考察する：澤口裕二, 1, 61
2. 学生の感性を引き出し伸ばす、教育的かわり：2, 134
3. キネステティック・クラシック・ネオの応用範囲と看護技術教育を変える可能性：3, 224
4. キネステティック・クラシック・ネオでの“環境整備”と看護技術教育を変える可能性について：4, 320
5. 地域での生活者のためのキネステティック・クラシック・ネオの可能性：5, 412
[コラム]キネステティック・クラシック・ネオの、科学に合わせた進化：澤口裕二, 5, 417
6. 日常生活動作を分析して支援することでセルフケア能力を高める——キネステティック・クラシック・ネオの可能性：6, 506

■ 授業を良くする！ 教育関連理論：西野毅朗

4. 「設計」して授業の流れをつくろう！：2, 140
5. 「開発」して授業の準備を整えよう！：3, 229
6. わかりやすく説得力のある伝え方：4, 326
7. 発問を活かした授業づくり：5, 420
8. グループ学習の効果を高める①——協同学習の前提を押さえる：6, 512
9. グループ学習の効果を高める②——アイスブレイクの技法：7, 602
10. グループ学習の効果を高める③——さまざまな技法を活用する：8, 760
11. 評価で授業と学習を改善する：9, 844
12. 総まとめ——授業づくりのQ&A：10, 934

■ 看護教育 継往開来！：江藤裕之／林 千冬

8. 昔も今も、講義中は「柔らかな沈黙」!?：1, 62
9. 先輩看護学生たちの不満——教員の権威の低下と、教育のサービス化：2, 148
10. これからの教育を見つめて：3, 236

■ 専門家と市民の架け橋 CoSTEP

7. アートで科学技術コミュニケーションを考える：朴炫貞, 1, 67
8. 3日間でライティングのエッセンスを学ぶ集中演習：

西尾直樹, 2, 157

9. CoSTEP 修了生インタビュー 柴田有花さん——“遺伝”を身近に感じてもらうために必要な科学技術コミュニケーション：奥本素子, 3, 251
10. VR(バーチャルリアリティ)による科学技術コミュニケーションの可能性：村井 貴, 4, 313
11. CoSTEPが実施するリスクコミュニケーション教育：早岡英介, 5, 427
12. 1年間の学びの集大成 CoSTEPの修了式：種村 剛, 6, 519

リズムとからだ 「うまくいく」と「うまくいかない」の謎：伊藤亜紗

10. 二重スパイ：1, 68
11. 「ノる」と「乗っ取られる」：2, 152
12. ゆらぎのある私：3, 242

すべて、転んで、立ち上がるために ～看護職生涯発達学から～

10. 現任教育担当を担う中堅看護師がイキイキと看護師教育を行うために：宮坂文緒, 1, 72
〔研究解説〕キャリア中期看護師が「役割を担う」ということ：佐藤紀子, 1, 77
11. 40代看護師にとっての仕事の意味：高柴律子, 2, 158
〔研究解説〕折り返し地点の看護師たち：佐藤紀子, 2, 162
12. 未来の看護を担う学生と出会うということ：佐藤紀子, 3, 246

書評

糸賀暢子／元田貴子／西岡加名恵著『看護教育のためのパフォーマンス評価 ループリック作成からカリキュラム設計へ』：〔評者〕山田 円, 2, 156

伊藤絵美著『つらいと言えない人がマインドフルネスとスキーマ療法をやってみた。』：〔評者〕保田江美, 3, 207

【映評】佐藤みつ子／森 千鶴監修『映像でやさしく学ぶ 生命倫理と看護倫理の基礎』全5巻：〔評者〕田邊三千世, 3, 223

本田 明編『看護師のための不穏・暴力対処マニュアル [Web 動画付]』：〔評者〕佐居由美, 5, 397

【映評】三浦友理子／奥 裕美／松谷美和子監修『臨床判断 気づくトレーニング』全3巻：〔評者〕池西静江, 6, 481
中井俊樹シリーズ編集, 中井俊樹／服部律子編集『看護教育実践シリーズ2 授業設計と教育評価』：〔評者〕古都 昌子, 6, 493

安酸史子／北川 明編『看護を教える人のための経験型実習教育ワークブック』：〔評者〕前川幸子, 7, 555

馬場元毅著『絵でみる脳と神経 しくみと障害のメカニズム 第4版』：〔評者〕鎌倉やよい, 7, 587

吉田みつ子著『実習指導を通して伝える看護 看護師を育てる人たちに』：〔評者〕今村仁美, 8, 717

中村 創／三上剛人著『精神科ならではのファーストエイド——搬送時サマリー事例付』：〔評者〕清水隆裕, 9, 823

近藤麻理著『知って考えて実践する国際看護 第2版』：〔評者〕野地有子, 10, 911

齋藤陽道著『シリーズケアをひらく』『異なり記念日』：〔評者〕木村映里, 10, 919

三浦真琴著『グループワーク その達人への道』：〔評者〕興 招清美, 11, 997

中井俊樹シリーズ編集, 小林忠資／鈴木玲子編集『看護教育実践シリーズ4 アクティブラーニングの活用』：〔評者〕阿形奈津子, 11, 1007

草間朋子・脊山洋右・松本純夫監修／草間朋子・松本純夫編集／穴沢小百合・竹内朋子・松本和史・松山友子・草間朋子・松本純夫著『病気の成り立ちを知る』（基本を学ぶ看護シリーズ3）：〔評者〕石川倫子, 12, 1075